

日本テレビグループの知財・無形資産戦略

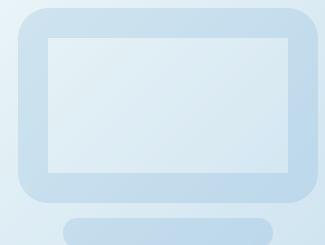
🌐 新経営ビジョンと中期経営計画（2025-2027）がもたらす変革と将来シナリオ

“日テレ、開国！”

Gear up, go global

2025年5月

コンテンツの力で、
"世界"を変える。



新経営ビジョンの概要

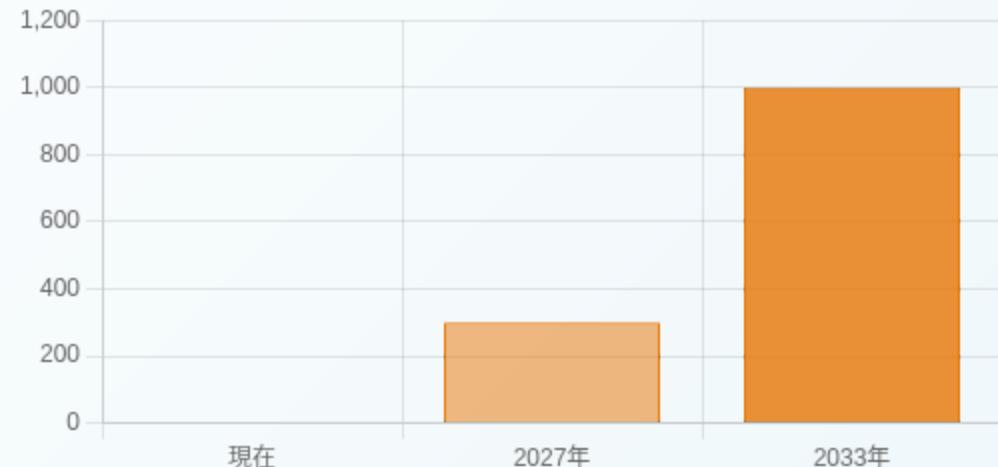
新経営ビジョン

コンテンツの力で、"世界"を変える。

新スローガン

日テレ、開国！ Gear up, go global

目標値



戦略的転換

国内市場中心のメディア企業

グローバルコンテンツ企業

成長投資枠

1,000億円

IP・技術・グローバル展開・M&A



主要戦略の6つの柱



1

グローバルコンテンツ企業への 変革

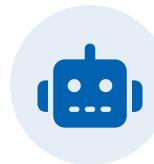
- ・グローバル市場対応の企画・制作体制
- ・海外拠点の新設（ロサンゼルスオフィス）
- ・GYOKURO STUDIOによる国際展開



2

IP創出にこだわったコンテンツ ビジネス

- ・ドラマ・映画・アニメ・VTuber等多分野展開
- ・社内組織強化と外部提携の促進
- ・パートナー企業との「共創」の推進



3

AIとテクノロジーの積極的導入

- ・独自AI「エイディ」のクリエイティブ活用
- ・年間10万時間の業務効率化
- ・「Tech事業部門」の設置と技術の外部展開



4

ウェルネス事業の拡大

- ・運動・美容・栄養・睡眠・健康の6分野
- ・ティップネスを中心とした事業展開
- ・コンテンツとの連携による相乗効果



5

戦略的投資：1,000億円の成長 投資枠

- ・IP開発・技術開発・グローバル展開
- ・M&A・新規事業へのアグレッシブ投資
- ・宇宙ビジネス・eスポーツなど新領域へも



6

報道の信頼性向上と社会課題解 決

- ・ファクトチェック体制強化
- ・「日テレNEWS NNN」のブランド確立
- ・AI・データを活用した新たな報道形態

無形資産戦略への影響



映画 コンテンツIP

現状

- ・国内視聴者向け企画
- ・アニメ・ドラマ中心
- ・日本市場最適化

新戦略後

- ・グローバル市場志向
- ・多領域IP (VTuber・eスポーツ等)
- ・権利確保・管理の高度化

チップ 技術資産

現状

- ・内部効率化ツール
- ・コスト削減目的
- ・放送中心技術

新戦略後

- ・事業化・外部展開
- ・AI「エイディ」の収益源化
- ・データ分析型意思決定

★ ブランドエクイティ

現状

- ・国内での高認知
- ・「感動×信頼」
- ・テレビ局としての評価

新戦略後

- ・国際的ブランド認知
- ・コンテンツ企業としての地位
- ・「世界を変える」コンセプト

組織・ネットワーク資産

現状

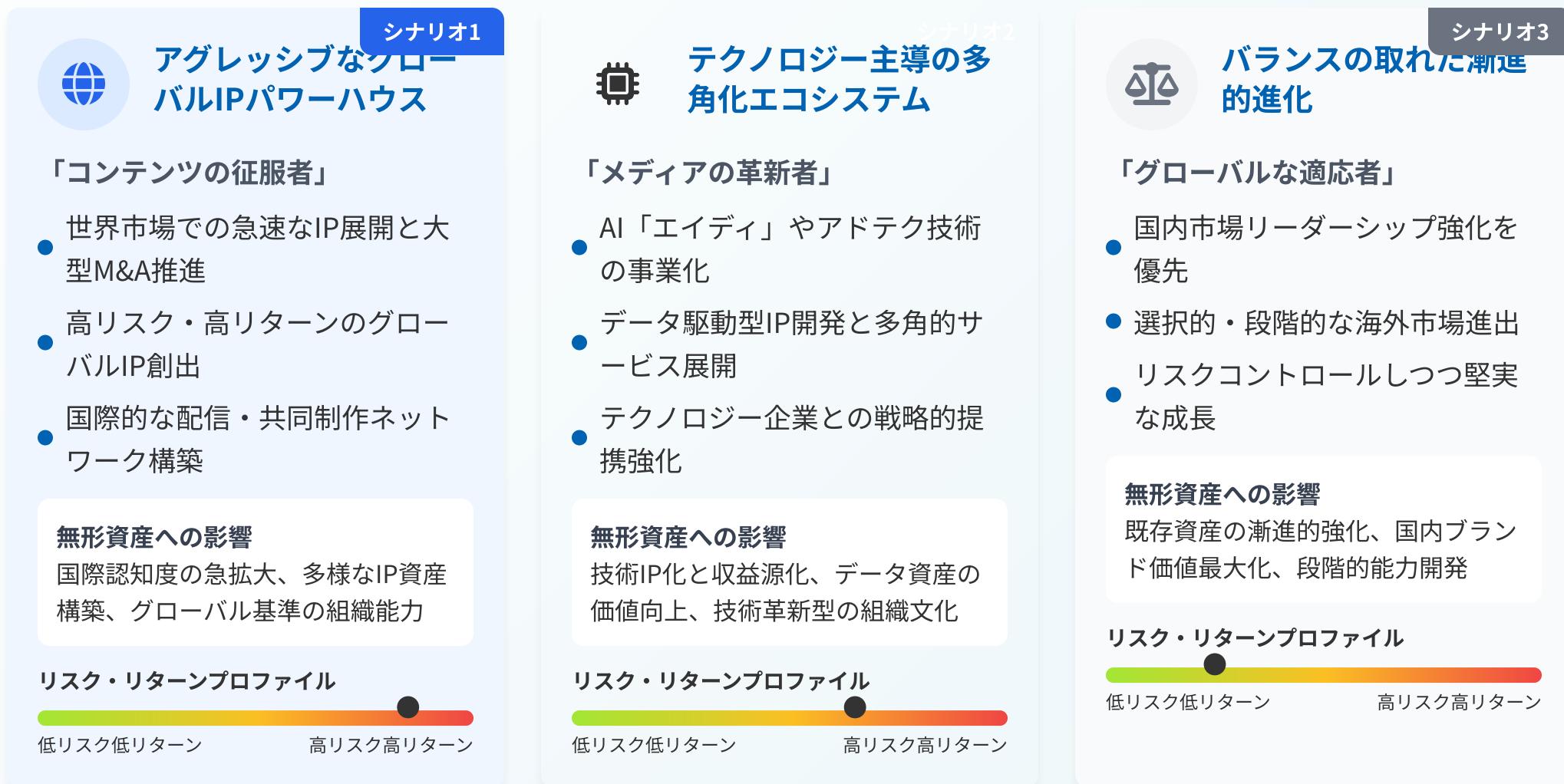
- ・国内系列ネットワーク
- ・局内制作力
- ・日本市場向け人材育成

新戦略後

- ・グローバル拠点網構築
- ・国際共同製作体制
- ・多様な人材・組織文化

「1,000億円の投資枠」：無形資産価値創出の原動力

日本テレビの将来シナリオ



予測される現実的展開

「開国」という強いメッセージと海外売上高1,000億円という大胆な目標を踏まえると、より**変革的・攻撃的な戦略**が志向されると予測される。

シナリオ1と2を組み合わせたハイブリッド型の戦略展開が最も現実的。グローバルIP拡大と技術資産強化の両軸を推進。

